

21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

PRESS RELEASE

2011.4.1

金沢21世紀美術館 平成23(2011)年度の事業について

金沢21世紀美術館は、世界の現在(いま)とともに生きる美術館。
今の時代が持っている表現の豊かさが感じられる場所をめざします。

金沢21世紀美術館は、開館以来『世界の「現在(いま)」とともに生きる美術館』というミッションを掲げています。開館7年目をむかえる今年度は、世界各地、同時代のアーティストの作品を数多く紹介し、このミッションを具体的な形で表していくことになると思います。

2011年度は、まずデンマーク出身でヨーロッパを中心に活動し国際的に評価が高まっているアーティスト、イエッペ・ハインの個展「360°」で幕を開けます。観客が作品に働きかける新しいタイプのインタラクティブな作品が多く、また建物とも絡んだ作品もあり、開かれた美術館としての金沢21世紀美術館そのものの在り方にも近い展覧会となるでしょう。続く「Inner Voices -内なる声」では、現実に向き合う時にわき上がる心の声を表現する女性アーティストに注目、特にアジア・パシフィック地域の作家・作品を紹介します。11月からは二つの展覧会がスタート。モニック・フリードマンは、フランス的なモダニズムを展開している女性アーティストで、金沢での展覧会が日本で初の本格的な個展となります。また「押忍!手芸部×豊嶋秀樹」は、日本の男子が体育会系のノリで手芸をどう料理するか見てください。そして一年間を通してピーター・マクドナルドが長期プロジェクトを展開します。彼はイギリスの若手作家です。彼の活動が日本で初めてまとまった形で紹介されます。

その他次頁以降に示した通り今年度も多彩な展覧会や交流事業を通じて現代の様々な価値観を提示できると思います。これまで国内では見る機会の少なかったアーティストをいち早く紹介できる一年になるでしょう。それぞれのプログラムが楽しく、かつ表現への関わりやすさがあり、今の時代が持っているポジティブな豊かさが感じられる、そんな年にしていきます。

2014年度には新幹線が金沢まで延びる予定です。それに焦点を絞り準備を着々とすすめ美術館の体制を整えて、現代の表現を発信する拠点として、また街のコミュニティーの中心として、金沢21世紀美術館の役割を果たしてまいります。

金沢21世紀美術館館長 秋元雄史

展覧会スケジュール (予定)

展覧会 / 月	2011										2012		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ピーター・マクドナルド:訪問者		4/16 長期インスタレーションルーム			6月中旬 展示室13							3/20	
サイレント・エコー コレクション展		4/29 コレクション展Ⅰ 7/18					9/17 コレクション展Ⅱ					4月上旬	
イエッペ・ハイン 360°		4/29				8/31							
Inner Voices -内なる声					7/30			11/6					
									展示室14のみ 9/10~11/6				
モニック・フリードマン展										11/23		3/20	
押忍!手芸部 × 豊嶋秀樹										11/23		3/20	
デザインギャラリー 展覧会	MADE IN JAPANの置時計 1960年代を中心に 開催中	5/29		アーティストが作るアートブック ZINE展	6/11		9/25		ベトナム絹絵画家 グエン・ファン・チャン 絵画修復プロジェクト展	10/22	2/12	2/25 6月	
												少女文化としての「かわいい」の系譜 -雑誌『オリーブ』をめぐる-	

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館

広報担当: 落合、黒田、沢井
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2806
http://www.kanazawa21.jp
E-mail: press@kanazawa21.jp



展覧会

ピーター・マクドナルド:訪問者

4月16日(土) → 2012年3月20日(火・祝)

色彩豊かな絵画空間に登場する大きな頭の不思議な人物は何者か? 「描くこと」を通じて、人と関わり、ジャンル、ジェンダー、国境、日常と非日常、といった境界を軽やかに越えてゆくイギリス在住のアーティスト、ピーター・マクドナルドが日本で初めて展開する長期のアート・プロジェクト。絵画作品展示(長期インスタレーションルーム/4月16日〜)と壁画制作(展示室13)に始まり、この空間を舞台に様々なプログラムを併催します。絵画という根源的な表現言語を通じて、人と人、人と場がしなやかにつながることを目指します。



ピーター・マクドナルド《ディスコ》2009
Courtesy the artist and Kate MacGarry, London

イエッペ・ハイン 360°

4月29日(金・祝) → 8月31日(水)

デンマークの若手作家、イエッペ・ハインの美術館における日本で初めての個展。7つの展示室と廊下を舞台に、観客との関係を生み出すユーモアあふれるインスタレーション作品など10点を展示します。タイトルの「360°」には、全方位に開かれた金沢21世紀美術館の建物にちなみ、見る人との関わりを大切にしたいという思いと、鏡や光を使った回転する作品などによって、空間がぐらつくような体験を引き起こしたいという思いが込められています。空間と戯れる、参加体験型の展覧会です。



イエッペ・ハイン《変化するネオン彫刻》2006
Courtesy: Johann König, Berlin, 303 Gallery, New York and SCAI The Bathhouse, Tokyo

Inner Voices —内なる声

7月30日(土) → 11月6日(日)

展示室14のみ 9月10日(土) → 11月6日(日)

西洋の外側にある国の芸術文化の考え方や人々の価値観は、実際にどう変化しているのでしょうか。本展は、既存の価値観や古い現実のパラダイムを脱し、もうひとつの現実を自ら作り出そうとしている作家たちのグループ展です。現実と直面して気づく差異や多様性に対して、私的なものへの回帰を装いながら実験や行動を通して保守的な認識を乗り越えようとしている、内なる声に耳を傾けます。



シルバ・グプタ《I Keep Falling At You》2010
courtesy: Shilpa GUPTA, Yvon Lambert Paris / New-York and Galleria Continua, San Gimignano / Beijing / Le Moulin photo: Didier BARROSO

モニック・フリードマン展

11月23日(水・祝) → 2012年3月20日(火・祝)

フランス人作家、モニック・フリードマンの日本初の本格的な個展。カンヴァスに顔料やパステル、紐などの素材を用い、素材と自身の身体とのジェスチュアルな対話によって、色と光という、絵画のエッセンスを突き詰める作品を生み出してきたフリードマン。近年では、プレキシグラスや紙を用いたサイトスペシフィックな展示も手がけています。過去の作品のセレクションに加え、当館の建築空間を最大限に生かした新作インスタレーションから構成される本展では、作家が追求してきた表現世界の新境地を紹介します。



モニック・フリードマン《Whisper》2008 展示風景
(La Verrière, Fondation d'entreprise Hermès, ブリュッセル)

押忍！手芸部×豊嶋秀樹

11月23日(水・祝) → 2012年3月20日(火・祝)

石澤彰一を部長とし、手芸ができない男前部員7人で結成された「押忍！手芸部」。技術や手法といった制約にとらわれない自由な創作が生み出す新たな価値観を、これまでの多様な作品群と新作、パフォーマンスやワークショップを通じて紹介します。さらに、ジャンル横断的な活動で注目されるアーティスト、豊嶋秀樹が、その部活動の精神を読み解き、展示空間を構成します。



押忍！手芸部 《風船のフーテンのふうさん》 2011
(大丸セントラル・スカイホール 札幌)

サイレント・エコー

コレクション展

コレクション展Ⅰ 4月29日(金・祝) → 7月18日(月・祝)

コレクション展Ⅱ 9月17日(土) → 2012年4月上旬

1980年代以降に制作された作品を中心とする当館コレクションを紹介する展覧会。本年度のコレクション展では、現代美術分野で注目を集める若手作家ツェ・スーメイの代表的な作品を招き入れ、未だ語られたことのない当館コレクションの潜在的世界をご紹介します。



マシュー・バーニー 《物束のドロイング8:誕生の製片》 2003
撮影：斎城卓 金沢21世紀美術館蔵



栗津潔 実験映像《ピアノノ炎上》 1974
金沢21世紀美術館蔵

デザインギャラリー

MADE IN JAPANの置時計 1960年代を中心に

開催中 2月5日(土) → 5月29日(日)

1950年代から60年代—日本の戦後復興期、アメリカの影響を受け、本来の私たちの生活感とは縁遠いはずのデザインが暮らしのなかに溶け込んでいきました。なかでも鮮やかなプラスチックの色彩が映える戦後の国産置時計は、今なお新鮮な印象を与えます。本展では、昭和の置時計約400点を紹介します。



精工舎「ロビン」1960年代 個人蔵

アーティストが作るアートブック ZINE展

6月11日(土) → 9月25日(日)

コピーやプリンター、簡易印刷などを使ってアーティストが作るリトル・プレスのアートブック「ZINE」。近年、その手法を用いる若いアーティストが増えています。本展では、ZINEをアーティストにとって新たな作品展開の場ととらえ、デジタルとの関わりも含めた可能性を探ります。



ベトナム絹絵画家 グエン・ファン・チャン 絵画修復プロジェクト展

6月11日(土) → 9月25日(日)

ベトナムを代表する絹絵画家グエン・ファン・チャン(1892-1984)の作品修復プロジェクトを紹介します。劣化が進行しつつある貴重な絵画作品を、日本の修復技術で救おうとする活動です。修復された絵画を展示するだけでなく、修復へのプロセスを映像化し、プロジェクトの核心に迫ります。



グエン・ファン・チャン「牛に乗って川を渡る女」(修復前)
1967年 個人蔵 71.8×51.9cm

少女文化としての「かわいい」の系譜 —雑誌『オリーブ』をめぐって

6月11日(土) → 9月25日(日)

日本固有の「かわいい」文化が国際的に注目を集めています。その「かわいい」という価値観の源流は日本において独自に発達した少女文化のなかにあるといえます。多くのクリエイターに影響を与えた雑誌『オリーブ』を軸に、少女文化の背景と展開についての分析を試みます。



撮影：天日恵美子

展覧会観覧料

展覧会名	当日券				前売・団体料金(20名以上)		
	一般	大学生	小中高生	65歳以上	一般	大学生	小中高生
イエッペ・ハイン 360°	1,000円	800円	400円	800円	800円	600円	300円
Inner Voices - 内なる声	1,000円	800円	400円	800円	800円	600円	300円
イエッペ・ハイン360° Inner Voices - 内なる声	1,700円	1,400円	700円	1,400円	1,400円	1,100円	600円
モニック・フリードマン 押忍!手芸部 × 豊嶋秀樹	1,000円	800円	400円	800円	800円	600円	300円
ピーター・マクドナルド:訪問者	9/17~3/20の期間中、展示室13はコレクション展の展覧会チケットで観覧できます。						
コレクション展	350円	280円	無料	280円	※1 280円	※1 220円	無料

※ コレクション展は同時期に開催中の展覧会チケットで観覧することができます。

※1 コレクション展の団体料金です。前売り券販売はありません。

ステージ・イベント スケジュール (予定)

シリーズ	イベント / 月	2011												2012				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
Pick Up	トヨタ コレオグラフィアワード 2010 レジデンシープログラム 古家優里 (ダンサー・振付家)			●	●													
パフォーマンス シリーズ	極東のスリー(イケ)メン イン ダーク スーツ 「Tri_K」							●										
	ジョセフ・ナジ振付・出演 「カラス / Les Corbeaux」																	●
映像 シリーズ	映画の極意 vol.11 ケベック映画祭				●	●												
	映画の極意 vol.12 フレデリック・ワイズマン レトロスペクティヴ											●	●					
ミュージック シリーズ	パーゼンドルファーを弾く																	
	music@rt Season V																	
トーク シリーズ	二十一世紀塾 二〇一一																	
	フランソワーズ・モレシャンの おしゃれ講座～時代を読む				●									●				
広場事業	Golden まるびい Week 11		●	●														
	まるびい de パーティ 7										●	●						

ピックアップ

トヨタ コレオグラフィアワード 2010
レジデンシープログラム
古家優里 (ダンサー・振付家)

6月20日(月) → 27日(月)

トヨタコレオグラフィアワード受賞者が金沢で滞在制作を行うレジデンシープログラム。今年度は2010年「次代を担う振付家賞」を受賞した古家優里がクリエイションを行います。今最も注目を集める振付家の新作が生まれる現場を公開します。



撮影：片岡陽太
提供：TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD

パフォーマンスシリーズ

極東のスリー(イケ)メン イン ダーク スーツ
「Tri_K」

8月27日(土)・28日(日)

香港のアーティスト/ディック・ウォンと、映画監督・俳優/今泉浩一、そしてダムタイプでも活躍、当館「true/本当のこと」公演でもおなじみの川口隆夫の3人が、微妙なユーモアと屈折したゲーム感覚で現代の人間社会を切り取る新作。



撮影：田口弘樹

ジョセフ・ナジ振付・出演
「カラス / Les Corbeaux」

2012年3月3日(土)・4日(日)

1987年『カナル・ベキノワ』で初来日以来、日本でも多くのファンを魅してきたジョセフ・ナジによる最新作。本作は美術家でもあるナジがダンスと音楽、絵画とパフォーマンスを融合させ独特の世界観で表現する、アヴィニョン演劇祭でも絶賛された作品です。



Photo: Rémi ANGELI

映像シリーズ

映画の極意 vol.11
ケベック映画祭

7月22日(金) → 24日(日) [予定]

モントリオール世界映画祭でも国際的に名高いカナダから、心に深く刻まれるアニメーション作品『木を植えた男』で知られるフレデリック・バックの名作も含むケベック映画芸術の多彩な魅力をご紹介します。



©Canadian Broadcasting Corporation

映画の極意 vol.12
フレデリック・ワイズマン
レトロスペクティヴ

11月18日(金) → 20日(日) [予定]

商業映画館では上映できないような希少な作品を全国シネマテークのネットワークにより上映するプロジェクト第3弾。今年は「現在、最も偉大なドキュメンタリー作家」と称されるフレデリック・ワイズマン監督特集を実施します。



フレデリック・ワイズマン

ミュージックシリーズ

ベーゼンドルファーを弾く

年間数回

シアター21のハウスピアノとしてオーバーホールされた1962年製ベーゼンドルファーが主役のシリーズ。今年はみなさま待望のクリスマスジャズ特集が復活。ベーゼンドルファーの美しい音色が元気に息を吹き返します。



以下写真全て 撮影：池田ひらく

music@rt Season V

年間数回

井上道義&オーケストラ・アンサンブル金沢21世紀美術館シリーズ5年目。今年も美術館で気軽に楽しめる“音楽と美術の新しい出会い”をお届けいたします。毎年恒例のクリスマスイベント「Merry Marubi Christmas V」もお楽しみに。



トークシリーズ

二十一世紀塾 二〇一一

年間3回予定

今年シリーズ4年目を迎える「二十一世紀塾」。様々なジャンルで活躍するアーティストや知識人との話場を定期的に設置、発展させていく二十一世紀の寺子屋です。今年は「街づくりとしての美術」をテーマに、都市の文化的な機能や美術館の新たな魅力などについてひもといていきます。

フランソワーズ・モレシヤンの
おしゃれ講座 ～時代を読む

Vol.7 5月28日(土)

Vol.8 11月12日(土)

今期で5期目を迎える金沢21世紀美術館国際アドバイザーのフランソワーズ・モレシヤン氏を迎えての人気のトークシリーズ。アートとファッションについて毎回様々なテーマでトークを繰り広げます。毎回恒例のテーマにちなんだドレスコードも好評です。



広場事業

Golden まるびい Week '11 5月1日(日) → 5日(木・祝)
 まるびい de パーティ 7 10月8日(土) → 10日(月・祝)

広場では、ゴールデンウィークと開館記念日の10月9日を中心に毎年好評を得ているミニSL、アートzaマーケット、まるびい茶会などのほか、館内外を舞台に繰り広げる観客巻き込み型パフォーマンスなど毎回新しいプログラムで盛り上げます。



if blank "OUCHI"



広場パフォーマンス



アートzaマーケット

※本内容について、貴媒体にて広く掲載・周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。
 ※本内容は2011年3月25日現在の予定です。展覧会名やイベント名、会期などは変更になる場合があります。
 最新の情報はウェブサイトやチラシをご確認ください。

金沢市民無料鑑賞の日

市民美術の日

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育むよう、金沢市では10月の金沢こども週間(10月の第2日曜日からその直後の土曜日までの7日間)の最終日を「市民美術の日」と定めております。

この日に、金沢市民の方は金沢21世紀美術館主催の「特別展」及び「コレクション展」を無料で観覧できます。
 2011年度の「市民美術の日」は10月15日(土)です。

美術奨励の日

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育むよう、金沢21世紀美術館では、「美術奨励の日」を設けております。

この日は、金沢市民の方が金沢21世紀美術館主催の「コレクション展」を無料で観覧できる日です。
 2011年度の「美術奨励の日」は、4月9日(土)、5月14日(土)、6月11日(土)、7月9日(土)、10月8日(土)、11月12日(土)、12月10日(土)、1月14日(土)、2月11日(土・祝)、3月10日(土)の10日です。

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館

広報担当: 落合、黒田、沢井
 〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
 TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2806
<http://www.kanazawa21.jp>
 E-mail: press@kanazawa21.jp